日本の行ファンクラブ通信



新型コロナで変わる生

り方を見つめ直し、

観や健 ンライン理事会が開催 化をもたらしました。 ど生活様式にも大きな変 だけでなく、住まいの レワークの普及、 ン会議など働き方の 景色を一変させました。 コロナ禍はこ 竹ファンクラブ初のオ 凍志· 向の高まり れま オンライ 先日)価値 変 で な 化

構造改革で筋肉質に

する中、 り」を目指した構造改革に えてくれました。 基本方針は足もとを見つ これまでの常識が変 多くの気づきも与 筋肉質な団体作 次年度の ます。

を進め、 グや固 を進めたいと思いま 体的 い強固な組織基盤づく 着手したいと思います。 にはアウトソー 定費の見直しなど 環境変化に負けな

3 化してきました。 値観 体験活動、 空間利活用 ます。ライフスタイルや価 大きく変わろうとし ション、 利活用を通じて山 の 大 竹林空間利用の深堀 活 の変化とともに 性化 森林浴やレクリエ 森をめぐる環境も 観光等森林空間 環境教育 の動きも を推進す 林野庁で 森林 自然 多様 る 施

> の場としての空間活用 資源を活用して 「健康」「体験」 活用の深掘りを 点から面 設立当初 へ各事業

と資源 近くの 負け している現状、 ま Ó 浜市内だけで毎年 な テ NPO法人が解 活 い 用の 組織 マ に 深掘りを 基盤づく 環境変化に た لح

平石

理事長

ファンクラブは各

的

に

取り組

で

年

ロナ禍で変わる社会と団体活動

テーマは構造改革と竹林空間活用の深

換えました。新年度を迎え、 新型コロナウイル 未来に備えようと思います。 スは一年で私たちの働き方や生活スタイル、 コロナ禍の教訓をもとに改めて団体活動 価値 の

めます。 こ の って 事業育成を図ります。 模のメリットを追求 を複合的に組み合わせ、 を推進してきました。 .空間 コロナ禍を契機にさ 多様な竹林 :空間 を

●編集・発行 日本竹類総合研究所・特定非営利活動法人日本の竹ファンクラブ●横浜市都筑区中川1-5-19 プロミネンス14—304号 ●TEL&FAX:045-306-9993 ●MAIL:<u>office141@takefan.jp</u> ●URL:http://takefan.jp

•会員数 正会員 124 名 /準会員 8 名 /賛助会員 個人 16 名・団体2・法人3 (竹取協力隊・援農隊 109 名)

小机城址支部

横浜国際プール支部

入りました。 作業内容を聞き作業に ろ恒例となった入場時 ホでアプリを登録し、 に検温を行ない、スマ 参加隊員はこのとこ

です。 業です。 天の川の2か所の残材 た。片付け組は筍畑と 垣根の改修組としまし 車で筍畑までの運搬作 した竹を割って、 灯籠祭りの片付け組と 班を二班に分け、竹 天の川では使用

めて、 えが悪いので、 解体したままでは見栄 令され、活動も自粛す ろが緊急事態宣言が発 は作成しました。 いました。竹林管理コ 料数を試算し間伐を行 垣根を解体し、必要材 有志を募り四ツ目垣を となっていました。 ることになり中途半端 ースの生徒さん用も含 完成させていただきま 垣根班は古くなった 親柱や胴縁まで 某日、 ځ

13 連 の 全とは言えない内に年 林整備や下草刈りが万 日あったのが4日、竹 内出前講座で12~13 \mathcal{O} かに5日で例年その間 あります。今年はわず 末迄は竹灯籠まつり関 毎年新年度4月から年 量が様変わりしました。 瀬になりました。 有志活動が竹林と館 は例年に比べて施工 コロナ禍での竹林 日の定例活動日が 密度管理等併せて

場の平場に化成肥料を \mathcal{O} 伐は中央階段デッキ前 となって春の恵みの筍 撒布し、地下茎へ養分 竹灯籠まつりメイン会 心に伐り新年を迎える 12 -備を整えました。 比較的細い古竹を中 なる期待を込め、 月は施肥と間伐で 間

士公園で行われる北山 田どんど焼きは、コロ ナ第3波のなか残念で しました。 たが参加協力を中止 年明け地元の山田富

担当:真板保昌

こどもの国支部

中井町支部

ざるを得ず苦慮してい 内の森林を維持する整 備などの作業を縮小せ るそうです。 こどもの国は、 て大きな打撃を受けた 休園や客の減少によっ コロナ禍により長 広い園

ています。 予防を周知してお客を 迎えており、 態宣言発令中も感染症 取協力隊の活動も続け 営業再開後は緊急事 私たち竹

は、 こどもの国の竹林整備 ための児童厚生施設」 を明るく健全に育てる 第2第4の火曜日 「次世代を担う児童

どうぞおいで下さい。

2005年5月

が楽しみです。

担当:丹治

行いました。 り東側を主に再整備を フィールドの中心部よ 当 期間の作業活動は

まだかなりの枯れ竹や

と同様に、竹林内には

12月16日は前回まで

今年の最後の活動

でその処理を実施しま 折損竹が残っているの

には、 ベキューを行いました。 たので、竹林内でバー 打ち上げ会が無理でし を行っています。 切倒し・残骸処分・運 ルスの影響で飲食店の 12月の最終日の10日 1月の初日の活動は、 作業内容は、 焼却等の処理活動 新型コロナウイ 間 伐

た。 竹林の間伐と間伐場所 へ冬の施肥を行いまし



竹取協力隊の皆様に

調に進んでいます。 ご活躍を頂き整備は順 担当:石川正壽



んな記事が出来るの 材をしていました。 割り作業しながら、 の太い稈のカケヤでの 方が参加し、援農隊隊 補強を行いました。 路からの侵入防止柵の 員同様に間伐や重労働 最下部広場下の一般通 ―広報誌のライターの また区民活動センタ 今回のメイン作業は ど取 か

ないように、 動が出来なかった一年 内を楽しめるようにし また皆で爽やかに竹林 するため、適宜間伐等 竹林の様な状態になら でしたが、以前の放置 て行きたいものです。 をして行きます。 コロナ禍で十分な活 整備管理

報告:山根泰裕

都筑折本

TAKEFAN NEWS

「行灯籠まつり」に参加しましょう!

本年も下記の通り「竹灯籠まつり」を開催します。 準備も含め作業日数が非常に多くなっています。 出来るだけ多く参加して下さるようお願い致します。

■4月10日(土)

第 14 回横浜国際プール「竹灯籠まつり」林浴の庭 (雨天の場合翌 11 日に順延)

■準備期間・前日・当日のスタッフ募集中です。 お手伝いいただける方は同封の申込書に必要事項を 記入の上、事務局までお申込み下さい。

令和三年度会費納入のお願い!

4月は会費更新の月です。継続してクラブの活動を ご支援下さい。

会員種別を明記の上お申し込みください。

◆入会金 1,000円

(新規入会の正会員希望の方のみ、継続会員は不要)

◆会費種別

正会員 個人2,000円

(入会して、総会の議決権を持つ個人)

準会員 正会員の家族1,000円、学生1,000円

(入会し、総会の議決権を持たない個人)

賛助会員 個人3,000円、法人以外の団体5,000円 法人30,000円(各一口以上)

(活動を支援するために入会した個人、法人及び法人以外の団体で、総会の議決権を持たない)

◆<振込先>郵便振替 00270-0-69084 特定非営利活動法人 日本の竹ファンクラブ

新入会員紹介 下線は竹取協力隊入隊者(敬称略)

◆無し

【活動報告】

令和2年10月計4回 神奈川工業高等学校竹林実習支援 2月13日(土)オンライン理事会

2月27日(土)通信春号発行

今年も「よこはま夢ファンド」で 応援してください!

申込方法が変更になりました。

日本の竹ファンクラブの支援指定をいただけるご寄付の方は、**寄付申込書(Word 様式)をダウンロード**しご記入の上、ファクス、Eメール添付、郵送で横浜市にお送りください。

寄付申込書のダウンロードは ⇒横浜市役所トップページ⇒<u>よこはま夢ファンド</u>検索 ⇒<u>※市民活動推進基金とは</u>⇒<u>※</u>寄付をお考えの方に</u>⇒寄付申込書 (Word)。 横浜市市民局市民協働推進課よこはま夢ファンド担当 **☎**045-671-4734 〒231-0005 横浜市中区本町 6-50-10 市

庁舎 29 階 ファクス: 045-223-2032 Eメール: sh-fund@city.yokohama.jp

2020年度総会6月20日(日)開催

2020年度総会を下記の通り開催します。

別途案内状を差し上げますのでご出席下さい。

日時 2021年6月20日 (日) 13:00~14:00

場所 城郷小机地区センター

内容 総会 主な議題

- ① 2020年度事業報告並びに収支決算・監査報告
- ② 2021年度事業計画並びに収支予算書

(コロナ禍の状況により、開催方法等が変更になる 場合があります)

桐蔭横浜大学のサービスラーニング

春期は1名の学生が参加します。 期間は2/14から4/11迄。 若い学生の力が、会員と協働で 横浜国際プールにおいて、 竹林保全の意義や竹林管理の 実践を学びます。



Cool Takefan ◆2021年幕開けの箱根駅伝はドラマがありました。第1区はお互い牽制しつつのジョギングペース、5区は青学大がアクシデント、脚のけいれんでブレーキになり順位を下げた◆復路の10区では劇的なまさかの逆転劇があって駒大が7度目の総合優勝をした。タスキをつなぐ10人の全選手が安定した走りでゴールに向かった結果が勝利の喜びとなった◆いま1億国民がひとつになり立ち向かっているコロナウイルス。二度目の緊急事態宣言は期間延長になったが、ゴールのテープはそう遠くではなく見え隠れしている状況だ◆今はコロナ禍での外出自粛やテレワークで働き方が変化し、生活環境に戸惑いはあるが定着しつつある。ワクチン接種が待たれ今日この頃、タスキをつないで向かうゴールは近い。(事務局)

予定表

※学校管:竹の学校「竹林管理コース」 ※協力隊:竹取協力隊の定例活動 ※援農隊:竹取援農隊の定例活動

※イベント:詳細はチラシ又はホームページでご覧下さい。

4月3日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹灯籠設置	10:00~15:00
4月9日(金) 協力隊	横浜国際プール まつり前日準備	10:00~15:00
4月10日(土) イベント	横浜国際プール (要事 第14回竹灯籠まつり(き	
4月11日(日) 協力隊	横浜国際プール まつり材片付け(予備日	12日) 10:00~12:00
4月13日(火) 協力隊	こどもの国 親竹の選定と密度管理	10:00~15:00
4月14日(水) 援農隊	都筑折本 竹林整備	10:00~12:00
4月17日(土) イベント	小机城址市民の森 (要たけのご掘り	事前申込み) 10:00~12:00
4月18日(日) 協力隊	横浜国際プール 竹灯籠割り・密度管理	10:00~15:00
4月21日(水) イベント	都筑折本 (要事前申込 筍掘り	み) 10:00~12:00
4月22日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐	10:00~15:00
4月23(金) 協力隊	横浜国際プール 竹灯籠割り・チップ化、羽	密度管理 10:00~15:00
4月25日(日) イベント	都筑折本 竹林親子学習	10:00~15:00
4月27日(火) 協力隊	こどもの国 親竹の選定と密度管理	10:00~15:00
4月30日(金) 協力隊	横浜国際プール 竹灯籠チップ化	10:00~15:00
5月2日(日) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 竹林整備と密度管理 講義: 竹の由来と生態 実習: 穂先筍収穫と竹水・	9:00~12:00

5月8日(土) 援農隊	都筑折本 竹林の整備・密度管理	10:00~15:00
5月9日(日) 協力隊	横浜国際プール 竹林整備と密度管理	10:00~15:00
5月11日(火) 協力隊	こどもの国 親竹の選定と密度管理	10:00~15:00
5月13日(日) 協力隊	中井町 竹林の間伐	10:00~15:00
5月22日(土) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 若竹伐採 講義: 筍の育成と管理 実習: 若竹伐採と竹水取水	10:00~15:00 9:00~12:00 13:00~15:00
5月25日(火) 協力隊	こどもの国 親竹の選定と密度管理	10:00~15:00
5月27日(木) 協力隊	中井町 竹林間伐	10:00~15:00
6月2日(水) 援農隊	都筑折本 若竹伐採	10:00~15:00
6月6日(日) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 若竹の伐採とお礼肥 講義:竹林の管理と育成 実習:若竹伐採とお礼肥	9:00~12:00
6月8日(火) 協力隊	こどもの国 親竹の選定と密度管理	10:00~15:00
6月10日(木) 協力隊	中井町 親竹の選定と密度管理	10:00~15:00
6月12日(土) イベント	中井町 (要事前申込み) マダケの筍狩り	10:00~15:00
6月22日(火) 協力隊	こどもの国 親竹の選定と密度管理	10:00~15:00
6月24日(木) 協力隊	中井町 親竹の選定と密度管理	10:00~15:00
6月27日(日) 協力隊	横浜国際プール 若竹伐採と下草刈り(マダケ)	10:00~15:00